

大阪シティ
信用金庫

「POファイナンス」

西日本初！取り扱い開始

電子債券化した発注書担保に融資

中小零細のピンチ救うと期待

大阪シティ信用金庫（高橋知史理事長）は、西日本の金融機関で初めて受発注債権担保融資「POファイナンス」の取り扱いを今月初旬に始める。

「POファイナンス」はフィンテック（金融とITとの融合）による新たな金融商品。企業が受け取った発注書を電子記録債権化することで担保にし、運転資金が最も必要となる仕掛中の資金を融資する。

従来は受注しても納品書や請求書を発行するまでは担保融資ができなかったが、「POファイナンス」は受注した時点ですぐに融資が受けられるため、中小・零細企業の資金繰りの窮地を救うと期待されている。

同金庫の金利以外に、電子債権記録機関を運営するT ranzax株式会社（東京都、小倉隆志社長）への

手数料（同金庫金利の2分の1で上限年1%）が必要。

同金庫は「今後もフィンテックを活用して、中小・零細事業者に対する円滑な金融仲介機能の発揮に努めていく」としている。

なお利用にあたっては、